



# 血管に裂け目 激痛やしびれ

全身に血液を送る大動脈の通り道が傷つき、剥がれるように裂けた隙間に血液が流れ込むのが大動脈解離です。血流障害や血管破裂の原因になり、何の前触れもなく突然起こります。今年2月に亡くなった落語家の笑福亭笑瓶さんも、この病気が原因だったそうです。(松田俊輔)

なぜ起きるの?



大動脈は人体で最も太い血管(直径2〜3センチ)で、心臓から送り出された血液が流れています。心臓から上方へ延びた血管は背中側へと弓状に曲がり、その後、下半身の方に向かいます。その途中で、脳、手足、臓器などにつ

## 大動脈解離

ながる血管がいくつも枝分かれしています。

大動脈は内膜、中膜、外膜という3層構造になっています。

血管破裂の場合には出血に伴うショック状態となり、緊急手術が必要になります。

一方、血流障害が招く症状は障害が起きた場所によって多岐にわたります。頭部への血管なら意識障害や脳梗塞、上半身の血管なら冷感や痛み、しびれなどです。

大動脈からしみ出した血液が心臓を包む袋の中にとまることもあります。その場合、心臓のポンプ機能を妨げる「心タンポナーデ」によって、意識の消失などが起こることがあります。

発症場所は様々で、心臓に近い部分(上行大動脈)で起こると「A型」、下方へ向かう部分(下行大動脈)で起こると「B型」に分類されます。それぞれ治療法などが異なります。

「杭が刺さる」などの言葉で例えられる、胸や背中、腰の激しい痛みが特徴の一つです。

大動脈解離が疑われる場合、コンピューター断層撮影装置(CT)や超音波(エコー)の検査で確認します。

A型の場合は原則として開胸し、裂けた血管をポリエス

テル製などの「人工血管」に置き換える緊急手術を行います。手術時間は最低4〜5時間、長いと8時間超に及ぶこともあります。体への負担が大きいので、高齢者のケースでは本人や家族と相談しながら治療方針を決めます。

どんな症状?

どう治すの?

予防法は?

40代以上で発症する人が多く、近年は高齢化に伴って70

代以上の患者が増えています。高血圧、動脈硬化、喫煙歴などが発症に関与していると考えられています。原因ははっきりわかっていません。「誰にでも起こり得る病気」という認識が大切です。

大動脈からしみ出した血液が心臓を包む袋の中にとまることもあります。その場合、心臓のポンプ機能を妨げる「心タンポナーデ」によって、意識の消失などが起こることがあります。

B型の場合は痛みを抑えたり、血圧を下げたりする薬を使って症状をコントロールしていくのが基本です。血流障害の程度が重い時はパネ状の金属を取り付けた人工血管(ステントグラフト)を挿入し、血管の傷ついた部分をふさぐ手法もあります。足の付け根の血管からカテーテル(細い管)で入れるため、体への負担を抑えられます。

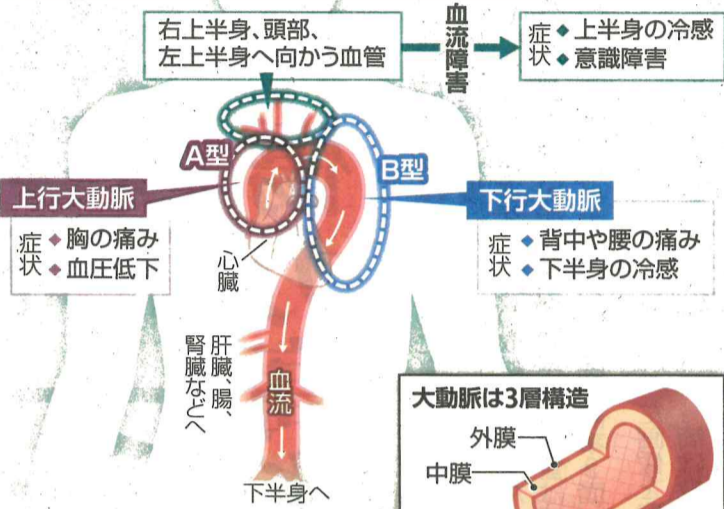
国立循環器病研究センターでは3チーム体制で24時間365日、手術に対応できる準備を整えています。大動脈解離の治療は心筋梗塞などと同様、一分一秒を争います。家族や周囲に激しい痛みを訴える方がいれば、ためらわず救急車を呼んでください。

特別な予防法はなく、十分な休養や睡眠、栄養を取るといった通常の生活習慣病予防の取り組みが重要です。一度発症しても薬による血圧のコントロールや定期的な検査を適切に受けさえすれば、多くの場合は再発を防げます。

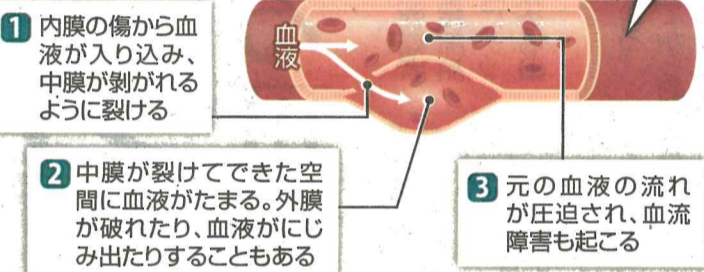
松田俊輔 国立循環器病研究センター副院長

### 分類と主な症状

大動脈からは体の隅々に向かう血管が分岐していて、発症場所によって影響を受ける部位や症状が異なる

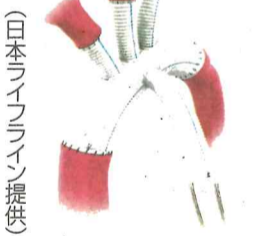


### 発症のメカニズム



### 主な治療法

**A型** 原則、開胸して「人工血管」に置き換える手術を行う



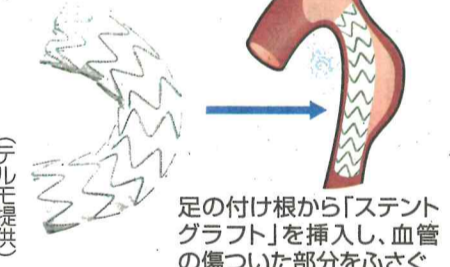
### 発症しやすい人

- 40代以上の人 (高齢化に伴って70代以上の患者が増えている)
- 高血圧の人

デザイン: 梅田幸代

**B型** 痛みを抑える薬、血圧を下げる薬を使って症状をコントロールするのが基本

**B型で血流障害がある**



### 発症を防ぐための日常の注意

- 十分な休養、睡眠
- バランスの良い食事
- 血圧のコントロール
- 喫煙を控える

\*「医なび」では、身近な病気の知識や治療の情報をお伝えします。科学医療部 ファクス06・6361・0521、Eメールoykagaku@yomiuri.com

## 前触れなく発症場所も様々



松田俊輔 国立循環器病研究センター副院長